

# 雑誌記事・論文の探し方

○読みたい記事・論文のタイトルの一部や著者名などはわかっているが、それが何という雑誌の何巻何号に掲載されているのかわからない。

○何らかの主題やキーワードに関する雑誌記事・論文の情報を網羅的に集めたい。

○ある雑誌のバックナンバーに、今までどのような記事・論文が掲載されているのかを知りたい。

このような場合にはまず、雑誌の記事・論文単位の情報が収録されたデータベースを使う必要があります。以下では、インターネット上で検索できる国内の総合的な雑誌記事・論文データベースを紹介した上で、目的の記事・論文の閲覧・入手に至るまでのステップを説明します。

## 1. インターネットで読みたい記事・論文を探す

### (1) CiNii(サイニイ) Articles(国立情報学研究所) (<http://ci.nii.ac.jp/>)

- ・国立情報学研究所(NII)が提供する日本の論文データベース・サービスです。学協会誌、大学等の機関の紀要等に掲載の記事・論文について、雑誌記事索引(国立国会図書館)、機関リポジトリ(大学等が自機関に属する研究者の成果等を収集し公開しているもの)も含めて検索できます。
- ・検索の結果、ヒットした記事・論文の情報(論文名、著者名、雑誌名、巻号、ページ、年月日、ISSNなど)を知ることができます。
- ・一部の論文については、CiNii Articles またはリンクを通じた連携サービス先に本文(PDF形式)がありその中には無料で閲覧できるものもあります。
- ・検索結果の詳細情報からリンクを通じて、NDL-ONLINE(国立国会図書館検索・申込オンラインサービス)やCiNii Books(国立情報学研究所が提供する図書・雑誌の情報サービス)へ移動し、国立国会図書館や大学図書館等での所蔵を調べることができます。

### (2) NDL-ONLINE 雑誌記事索引(国立国会図書館) (<https://ndlonline.ndl.go.jp/#/>)

- ・国立国会図書館(NDL)が収集・整理する主に国内刊行和文雑誌のうち、採録誌一覧に掲載されている記事・論文を検索できます。
- ・採録誌には、学術雑誌(紀要等を含む)、特定の分野・業界に関する専門誌、各種団体の機関誌、一般総合誌のほか、利用頻度の高い一部の一般週刊誌も含まれます。
- ・検索の結果、ヒットした記事・論文の情報(論題、著者、雑誌名、巻号・年月日、ページ、ISSNなど)やNDL請求記号などを知ることができます。

「すべて」にしてキーワード欄検索

検索結果を絞り込む	
オンライン閲覧	18
オンライン閲覧可	18
館内限定	18
館内限定(図書館送信)	10
オンライン閲覧不可	74
資料種別	
図書	42
雑誌記事	38
雑誌	10
映像資料	1

検索結果の左側の「検索結果を絞り込む」「資料種別」  
「雑誌記事」→(2)の「雑誌記事索引採録記事」、  
「雑誌」→(3)収録の「雑誌目次」が表示されます。

### (3) 国立国会図書館デジタルコレクション(国立国会図書館) (<https://dl.ndl.go.jp/>)

- ・国立国会図書館がデジタル化した資料を検索・閲覧することができます。NDL-ONLINEの検索結果にある「デジタル>インターネット公開」の表示からも閲覧することができます。
- ・国立国会図書館デジタルコレクション収録の雑誌目次が検索できます。
- ・「図書館送信限定」と表示のある資料は、愛知県図書館の2階の指定端末で閲覧することができます。利用には愛知県図書館の利用カードが必要です。複写の受付は閉館30分前までです。

### (4) Google Scholar(Google) (<https://scholar.google.co.jp/>)

- ・Googleが提供する検索サービスです。学術雑誌や論文など学術文献が検索できます。

## 2. 読みたい記事・論文の掲載誌が愛知県図書館にあるかを OPAC (蔵書検索) で調べる

- ・目的の記事・論文の情報を入手できたら、次に、それを掲載した雑誌が愛知県図書館にあるかを OPAC で調べましょう。
- ・「タイトル」に雑誌名(例：キネマ旬報)あるいはその一部分(例：キネマ)を入力して検索します。ヨミ(例：きねまじゅんぽう)による検索も可能です。巻号は入力しません。
- ・雑誌に ISSN(国際標準逐次刊行物番号)がある場合は、ISSN にあたる 8 桁の番号(例：13425412)を「ISSN」に入力して検索することもできます。
- ・「著者」や「出版年」などの項目は空白にしておきます。
- ・検索する前に「新聞雑誌」以外のチェックを外しておく、検索の対象資料が新聞・雑誌に限定されるため、検索を効率的に行うことができます。
- ・検索結果が表示され、該当の雑誌名をクリックします。さらに、巻号一覧の巻号をクリックし、該当巻号が当館にあるかを巻号詳細画面の所蔵、欠号情報で確認しましょう。所蔵があれば、館内で閲覧することができます。
- ・昨年以前に発行された雑誌は、開架ではなく書庫にありますので、カウンターで請求してください。なお、書庫資料の請求の受付は閉館 30 分前までです。

The screenshot shows the '詳細蔵書検索' (Detailed Collection Search) page. It includes search criteria for title, author, and ISSN, along with options for search scope and result display. A red arrow points to the '新聞雑誌' (Newspaper/Magazine) checkbox in the '対象資料' (Target Materials) section, which is checked. Other options include '和書' (Japanese books), 'AV', '紙芝居' (Paper puppets), and '点字録音' (Braille recording).

## 3. 読みたい記事・論文の掲載誌が愛知県図書館になかったら 1 ～他の図書館を利用する

- ・OPAC 検索の結果、該当の雑誌・巻号を愛知県図書館で所蔵していなくても、所蔵する図書館が近くにあれば、そこに向いて閲覧することができます。他の図書館で所蔵しているかを知るには、各館ごとに所蔵を調べるよりも、複数の図書館の新聞・雑誌の所蔵状況を一度に探索できる下記のサイトが便利です。
- 「愛知県内図書館雑誌・新聞総合目録」(<http://websv.aichi-pref-library.jp/magazine/opac/search-detail.do?lang=ja>)  
愛知県内の公共図書館等が現在継続して受入している新聞・雑誌の目録。各館の所蔵状況がわかります。
- 「CiNii Books」(<http://ci.nii.ac.jp/books/>)  
国内の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌(新聞を含む)などを検索できるデータベース。
- 「国立国会図書館サーチ(NDL サーチ)」(<https://iss.ndl.go.jp/>)  
国立国会図書館をはじめ公共・大学・専門図書館が提供する図書・雑誌(新聞を含む)などの所蔵情報、雑誌記事索引など幅広く探することができます。

※大学等の学術研究機関の図書館を利用する場合は、一部の機関を除いて、身分証や紹介状などが必要になります。他館の利用を希望される方は、2 階新聞・雑誌カウンターにご相談ください。

## 4. 読みたい記事・論文の掲載誌が愛知県図書館になかったら 2 ～コピーを取り寄せる

- ・該当の雑誌・巻号が愛知県図書館になかった場合、国立国会図書館をはじめ、他の所蔵館から目的の記事・論文のコピーを有料で取り寄せることができます。
- ・国立国会図書館は、登録利用者 ID を取得しておく、NDL-ONLINE にログインでき、個人で自宅等から複写の申込みやコピーの受取りを行えるのでたいへん便利です。
- 「遠隔複写サービス」(<https://www.ndl.go.jp/jp/copy/remote/index.html>)
- ・国立国会図書館で所蔵しない資料についても、当館を通じて、所蔵する大学図書館等にコピーを依頼し、取り寄せることができます。申込みには愛知県図書館の利用カードが必要です。
- ・複写料金や送料は、お申込みされる方の負担となっており、相手館が指定する方法でお支払いいただく必要があります。コピーの入手までにかかりの日数がかかる場合もあります。

※文献複写のお申込みを希望される方は、2 階新聞・雑誌カウンターにご相談ください。

※大学等の学術研究機関に所属されている方は、所属機関の図書館にお申込みください。

問合せ先：愛知県図書館

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 1-9-3 <http://www.aichi-pref-library.jp/>

TEL:052-212-2323 (代表) 052-212-3200 (調査相談専用) FAX:052-212-3674